２０１２年度　公益社団法人　乙訓青年会議所　委員長方針

まちづくり委員会　委員長　波多野　裕人

今、我々の住む国は、先行き不透明な経済状況の中、また東日本大震災による災害や、福島原発の放射能問題など、多くの不安要素や問題を抱えております。こんな時代だからこそ、我々責任ある世代が高い志を持ち、地域のリーダーとして積極的に活動する事が必要です。そういった活動を続ける事で「明るい豊かな社会の実現」に少しでも近づくと考えます。

本年度、乙訓青年会議所は、公益社団法人として実質一年目を歩みだし、今まで以上に公益性の高い事業を構築していく事が求められます。これまで先輩諸兄が培ってこられた礎を基にして、行政、地域諸団体、市民の方々と、更に連携強化し、地域に開かれた団体となるように、努めていかなければなりません。その為には、新５ヵ年行動指針を今一度再認識して、積極的に青年会議所運動を地域に発信する事が必要と考えます。

現在、我々が活動する乙訓地域でも、率先してまちづくり活動をされている地域諸団体が沢山増え、市民の方々にとっても、まちづくり活動に関わりやすい環境になりつつあります。しかし、その反面で、核家族化や他人に対して無関心など理由は様々ですが、近年では地域住民同士の関係が希薄化しております。乙訓（まち）を形成していくには、人と人との繋がりというものが大切になってきます。こういったコミュニケーションの事も問題提起し、今後のまちづくりについて、関連するＮＰＯ法人や地域諸団体の方々と共に考え、活動して参ります。そして、行政、地域諸団体と様々な関わりを持つ事で、まちづくり委員会が、乙訓青年会議所と地域を繋ぐパイプ役となり、ネットワークの構築を図ると共に、地域を魅了し未来に誇れる乙訓（まち）を目指します。今年度、まちづくり委員会では「見つめなおそう！魅力あふれる乙訓（まち）」というテーマを掲げ、活動して参ります。担当させて頂きます６月例会では、自分達が住んでいる乙訓（まち）の事を今一度見つめ直し、地域活性やまちおこしについて考え、学ぶ例会を開催します。また、９月例会で行う水辺フェスティバルについては７年目を迎え、地域に浸透してきている水辺事業です。地域コミュニティの活性化や、三位一体の連携強化となる機会など、今までの良い部分を継承し、創造性、発展性のある事業を目指します。また「明るい豊かな社会の実現」を創造するには、次代を担う青少年の育成という部分も必要不可欠と考えております。同室である青少年育成委員会と連携し、青少年育成に関する事業に対しても、積極的に参加するよう努めます。また、メンバー全員で行っていかなければならない会員拡大活動に対しても、力を注ぎ活動します。

青年会議所の活動においては、様々な機会があります。その機会を大切にし、参加する事で学びや友情が育めると考えます。日々の活動には、楽しい事ばかりではありません。まちづくり委員会では、苦難の時も自己成長の為と捉え、常に楽しむという事を心掛け、そして思い切った行動力を持って何事にも挑戦し、一年間邁進して参ります。